



a. 教室構造補修 教室構造補修にむけた保護者総会

教室構造補修にむけて2回目の保護者総会を開催した。第1回保護者総会より、当会の活動概要を伝え、同校の既存の教室の脆弱性について状況説明し、対処活動の提案、事業を実施する場合の学校および保護者の責任について説明した。保護者・校長は、その内容を理解し、当会との活動を進めることについて合意が形成されていることを確認した。写真は、当会と活動する意思を挙手で確認した様子。

撮影場所: マシंगा準郡ミアンゲニ準地区カリニ小学校
撮影日: 2015年6月19日
ファイル名: 1506kh055



c. リテンド(土留め)壁建設 リテンド壁建設にむけた覚書の締結

同校は、教室基礎周りの土壌が流出し、基礎が露出しており、教室が倒壊する危険があるほど脆弱である。この状況に対処するため基礎周りにリテンド壁を設置することで保護者・校長と合意した。この壁と教室基礎との間に土砂を埋め戻すことで教室の安定を確保する。事業を行う上での保護者と当会とのそれぞれの役割と責任を再度確認した上で、校長と学校運営委員会議長が署名した。なお、リテンド壁建設を適正に完了させれば、教室構造補修へと事業を進めていくことで口頭合意している。

撮影場所: マシंगा準郡ミアンゲニ準地区カオニョウエニ小学校
撮影日: 2015年7月16日
ファイル名: 1507km001



c. リテンド(土留め)壁建設 リテンド壁の基礎底部のコンクリート固め

リテンド壁を設置する場所に溝を掘り、その底である基礎底部にコンクリートを流し込んで固めた。保護者は、2グループに分かれ、セメント・砂・砂利を1:3:6の比率で水と混ぜてコンクリートを作り流し込んだ。写真は、保護者と職人とで、一輪車を使ってコンクリートを基礎底部に流し込んでいる様子。

撮影場所: マシंगा準郡ミアンゲニ準地区キアングニ小学校
撮影日: 2015年6月16日
ファイル名: 1506kh044



a. 地域リーダー保健研修 地域リーダー保健研修の実施

地域リーダー保健研修は、地域保健単位(CHU)を形成する対象村の村長老や地域リーダーを招待し、プライマリヘルスケアの概論、育成する地域保健ボランティア(CHW)の村での意義・役割を説明した。また、住民がCHWを支援する必要性を提起し、住民参加にはリーダーの協力が不可欠であることも確認した。

写真は、専門家がペニスモデルを使用して、コンドームの適切な使用方法を参加者に伝えている様子である。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ準地区ジャシヨホテル
撮影日時: 2015年4月21日
ファイル名: 1504sae15



b. CHWを知らせるための村訪問 第1回目のエカラカラ村訪問の実施

地域保健ボランティア(CHW)を知らせるための村訪問は、多くの住民にCHWの意義・役割を理解してもらうこと、その理解の上で村世帯数の過半数が、村を代表するCHW候補を住民自身で選出することが目的である。住民がCHWの活動を積極的に支援することで、CHUの活性化へとつなげることを目指す。

写真は、エカラカラ村の第1回目の訪問である。住民から、過半数が集まるのは難しいとの意見がでたが、その後村長老・リーダーと協議し、他の住民の説得を提案した。第2回村訪問では、過半数が集まってCHWを選出した。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ準地区エカラカラ村
撮影日時: 2015年6月22日
ファイル名: 1506sae023



c. CHW育成研修 第3週目の理論研修

地域保健ボランティア(CHW)育成研修は、マシガ準郡保健局と当会との協働で、保健省のCHWマニュアルに沿って4週間で実施する。そのうち第1週目と第3週目が理論研修で、各村から選出されたCHW候補に対して、当会専門家・保健局行政官が講師となって講義を行なう。

写真は、保健局の講師である看護官が、参加者の家族計画に関する質問に答えている様子である。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ準地区エカラカラ職業訓練校
撮影日時: 2015年8月26日
ファイル名: 1508sae0174



a. 準郡レベルの行政関係者会議 行政官との教室補修候補校の選定会議

当会スタッフが、エカラカラおよびミアンゲニ準区の全小学校12校を訪問して実施した教室構造補修事業の実施可能性調査をもとに、マシंगा準郡教育局で補修対象校の選定会議を行なった。この会議には、当会の調整により保健局学校保健担当も参加し、地域保健単位(CHU)を形成するこの準地区で学校運営能力向上事業を実施することで、住民が子どもの健康と安全を保障する相乗効果をめざすこと、教室補修で教育局と保健局とが協働することについても合意した。

撮影場所: マシंगा準郡マシंगा準地区準郡教育局事務所
撮影日: 2015年5月18日
ファイル名: 1505kh017



a. 準郡レベルの行政関係者会議 マシंगा準郡保健局とのCHU会議

エカラカラ準地区で地域保健単位(CHU)を設立するに当たり、準地区全体の人口・世帯数の調査を行なったところ、1CHUあたり5,000人が規定であるのに対し、エカラカラ準地区長が10,000人を超える人口を提示していることを保健局との会議で報告。保健局長より、将来の保健活動の効果的な実施のため、CHUは規定規模に近いものであるべき、との意向が示され、同準地区では一部地域を対象に1CHUを形成することとなった。

撮影場所: マシंगा準郡マシंगा準地区マシंगा準郡病院
撮影日時: 2015年3月18日
ファイル名: 1503sae08



b. 地区レベルの行政関係者会議 エカラカラ地区長主催のCHW選定調整

地域保健ボランティア(CHW)を知らせるための村訪問を行なう中で、準地区長と一部の村のリーダーとに確執があることが判明。そこで、地区長に関係行政官会議を招集してもらい、準地区長と確執のある村について今後の対応を検討した。準地区長は一旦、今後は本事業に関わらない旨の発言をしたが、最終的に自らこの問題を解決することで合意。後日3年ぶりに確執のある村へと出向き、住民との確執を解消し、住民によるCHW候補の選出が尊重された。

撮影場所: マシंगा準郡エカラカラ準地区エカラカラ地区長事務所
撮影日時: 2015年5月14日
ファイル名: 1505ase41